授業科目名： 解剖学	教員の免許状取得のための選択科目	単位数： ２単位	担当教員名：北原　秀治 担当形態：単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科　目	教科及び教科の指導法に関する科目 （中学校及び高等学校保健体育）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 生理学（運動生理学を含む。）		

「学位授与の方針」との関係

星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21 世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。

A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。

B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。

C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。

D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。

E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。

F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。

授業の到達目標及びテーマ

（１）人体の各器官系の構造と機能を理解し説明できる。

（２）運動力学の基本的内容について理解し、運動を科学的に説明することができる。

（３）運動に関わる身体各部分の構造や機能について説明できる。

授業の概要

人間の体の各パーツの構造と名前、そして機能を知ることと、それらがいかに調和を保っているかを学修する。人体解剖学及び組織学の知識は、外傷や病気を理解する基礎となるため、この知識を基に、医学に関する知識を養う。

授業計画

第１回：解剖組織学総論（４大組織と体の構造）

第２回：解剖学１：骨学（骨、関節の構造）

第３回：解剖学２：筋学（骨格筋、平滑筋、心筋）

第４回：解剖学３：消化器１（口腔～肛門）

第５回：解剖学４：消化器２（肝、胆、膵）

第６回：解剖学５：循環器（心臓、肺、血管、リンパ管）

第７回：解剖学６：呼吸器（気管、肺、呼吸の生理） 第８回：解剖学７：泌尿器、生殖器 第９回：解剖学８：中枢神経（脳、脊髄） 第１０回：解剖学９：末梢神経１（脳神経） 第１１回：解剖学１０：末梢神経２（脊髄神経） 第１２回：解剖学１１：感覚器１（視覚、聴覚、平行覚） 第１３回：解剖学１２：感覚器２（味覚、嗅覚）、外皮 第１４回：解剖学１３：炎症性疾患、外傷（骨折、脱臼）、腫瘍性疾患の病態学 第１５回：解剖学１４：骨、筋の生理学、体の恒常性 定期試験 　＊スクーリングではすべての内容について包括的に取り上げる。
教科書 「解剖学　改訂第２版」　岸清著（全国柔道整復師学校協会監修）　医歯薬出版
参考文献 　授業プリント
学生に対する評価 　スクーリング評価（２５％）、レポート評価（２５％）、科目修得試験（５０％）の割合で総合して評価する。